

**作型** 寒さには強いが、生長するにつれて耐寒性がなくなってくる。厳寒期を迎える前に敷きわらをするともに、北側を土寄せして風よけをする。春の生長が盛んな時期には、月に1回追肥すると草勢が維持でき、収穫期間を長くすることができる。

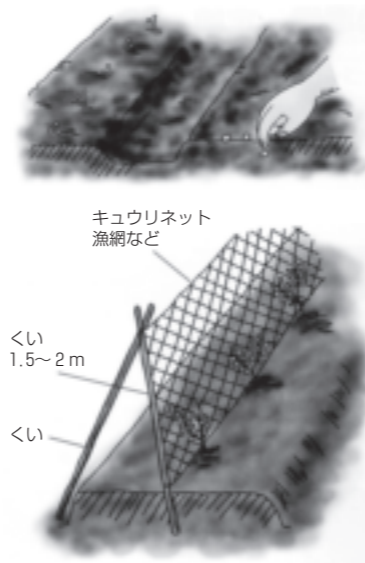
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
普通栽培						■	■	■			○	○	さや取り(成駒・白花兵庫絹さや・赤花絹さや) 実取り(ウスイ・グリーンピース) スナック(ジャッキー・あまいエンドウ)

○：種まき ■：収穫

## 畑の準備・定植

<b>土づくり a 当たり</b>
堆肥 300kg
セルカ(有機石灰) 20kg
BMようりん 2kg
植え付け1か月前に土とよく混合
<b>元肥 a 当たり</b>
油粕 10kg
畝立時施用

- 1条植え：畝幅 120cm 株間 40cm
- 1カ所2～3粒まきとし、薄く(2cm)覆土する。
- 種子を20℃の水に2～3時間浸し、十分水分を与えてから播種すると発芽しやすい。



- 間引き**
- 草丈が7～8cm位になったら1カ所2本立てにする。
  - 間引き後、保温のため敷きわらをする。北側を土寄せして風よけを作る。

## 整枝・土入れ

- 巻きひげが発生するようになったら、つるがからみやすくするためにキュウリネット、漁網等を張る。
- 枝が混んできたなら、茎葉に十分光が当たるようにふところの枝を整理する。

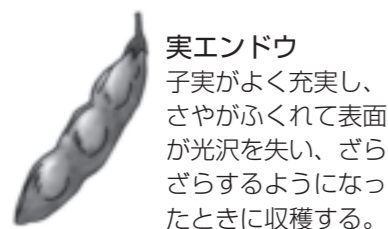
## 追肥・土寄せ

- 3月中旬：野菜専用肥料4kg/aを施用後、軽く土寄せを行う。

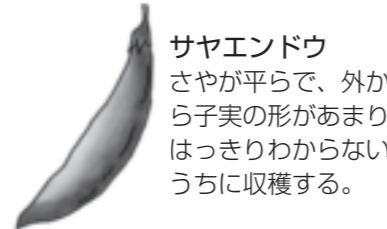
## 防除

病虫害名	耕種防除	薬剤防除
うどんこ病	風通しを良くする	トリフミン水和剤 3000～5000倍 前日まで5回
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る	スミチオン乳剤 1000～2000倍 30日前まで4回
ハモグリバエ		マラソン乳剤(1000倍) 7日前まで3回

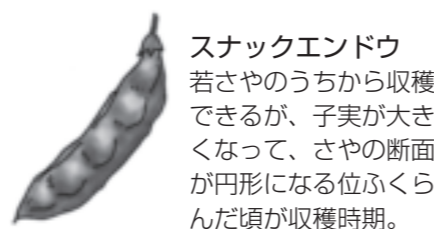
## 収穫



**実エンドウ**  
子実がよく充実し、さやがふくれて表面が光沢を失い、ざらざらするようになったときに収穫する。



**サヤエンドウ**  
さやが平らで、外から子実の形があまりはっきりわからないうちに収穫する。



**スナックエンドウ**  
若さやのうちから収穫できるが、子実が大きくなって、さやの断面が円形になる位ふくらんだ頃が収穫時期。

裏面はチンゲンサイを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

**作型** 涼しくなってから播種する秋まきは作りやすい。11月～3月まきはトンネル、ハウスが必要。播種時期をずらし、長期間収穫するとよい。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種 名
ハウス・トンネル													上海、武帝、青美 (11月～3月まきは、トンネル・ハウス栽培)

○：種まき ■：収穫

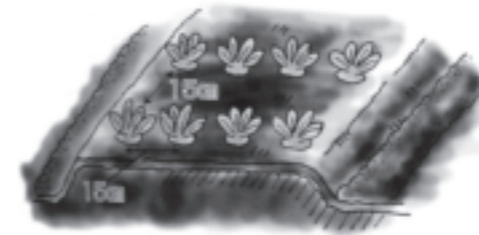
## 畑の準備・定植

<b>土づくり a 当たり</b>
堆肥 300kg
セルカ(有機石灰) 10kg
7～10日前に施用し土と混合
<b>元肥 a 当たり</b>
醗酵鶏糞 30kg
畝立時施用

- 畝幅 100～120cm
- 畝高 ○露地、トンネル 30～40cm ○ハウス 10～20cm

## 定植

- 黒マルチをし、保温、雑草防止、生育促進をはかる。
- 株間 15cm
- 条間 15cm(4条植)
- 植え付け後は、十分灌水する。



## 防除

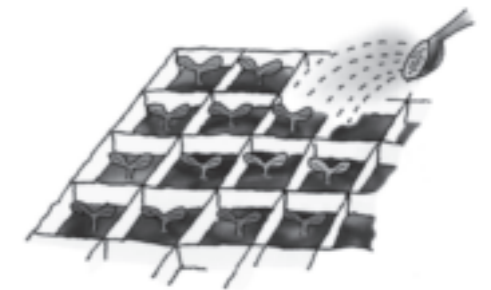
病虫害名	耕種防除	薬剤防除
アブラムシ類	光反射テープを畝上に張る。施設では開口部に寒冷紗を張る。	モスピラン水溶剤(4000倍) 7日前1回
コナガ	寒冷紗等被覆資材を用いる。早期発見し、除去する。	アフアーム乳剤(2000倍) 3日前3回

裏面はえんどうを掲載しています。

農作業のページは取りはずして別に保存し活用してください。

## 播種・育苗

- セルトレイ(72穴) 本葉3～4枚で定植
- セルトレイ(128穴) 本葉2枚頃に定植
- 軽く覆土し発芽するまで乾燥しないように灌水する。



## 収穫

- 草丈 15～20cm
- 植え付け後30日前後で収穫となる。
- 取り遅れないようにする。

